

# さいせいおたる



北海道済生会は今年7月、100周年を迎えます。小樽市手宮で100年前誕生した済生会小樽診療所は1952（昭和27）年12月、梅ヶ枝町に移転して「済生会小樽北生病院」（写真）に生まれ変わりました。「北生」と命名したのは、当時の小樽市長で自らも医師であった安達与五郎です。ちなみに当院・安達秀樹医師はその孫です。

## INDEX

- 02 副院長挨拶
- 03 新入医師紹介
- 04 小樽っ子サトシ君が聞く!
- 06 患者さまの声
- 07 地域連携病院の紹介／かかりつけ医
- 08 さいせいニュース／連帯保証人代行制度のご案内
- 09 済生会の歴史
- 10 外来担当医師一覧表(2024年6月)



社会福祉法人 済生会支部北海道  
**済生会小樽病院**

〒047-0008 北海道小樽市築港10番1号  
TEL 0134-25-4321(代)  
FAX 0134-25-2888  
URL <https://www.saiseikai-otaru.jp/>  
発行 和田卓郎 発行日5月31日  
編集 広報室(松尾寛志)





## 「地域と共に生きる」

済生会小樽病院 副院長

水越 常德



済生会小樽病院広報誌「さいせいおたる」をご覧いただきありがとうございます。昨年の大型連休明けから新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)が5類になりまして、ちょうど1年が経過いたしました。完全とは言いませんが、元のコロナ前に戻ってきた感があります。当院も診察室前のビニールシールドの撤去、発熱外来の終了など4年余り続いた感染症対策を縮小してきております。しかしながら、感染症対策を終了するものではありません。

医療業界では2年毎に診療報酬改定というものがあります。今年がその年(西暦でも令和でも偶数年)に当たりまして、当院はじめ全国の医療機関にてその対応に当たっているところであります。国が持つて行こうとする医療の施策・体制について、診療報酬改定を通してその都度示唆されるのですが、そのポイントを解説している専門筋では、今年の改定では、地域包括ケアシステムということに主眼の一つが置かれているようです。地域包括ケアシステムとは、厚生労働省HPから抜粋しますと、「2025年(令和7年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進していきます」と書いてありました。調べてみたら、広島県尾道市で1980年代(昭和55年頃)から取り組まれていた様です。いわゆる高齢者の介護を地域が主体性をもって執り行っていく体制をつくるのが目的と思われます。当院でも地域包括ケア病棟というものを現地に新築移転してきた時から取り入れております。地域包括ケア(システム)を支援する病棟のことで、急性期治療を経

過し、病状が安定した患者さんに対して在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行うことを趣旨に取り入れられております。少子高齢化が顕著になってきているところでもあり、特に小樽市内ではその件につきましては身をもって感じております。市内で独居であり、息子や娘は札幌にいる。それならまだいいのですが、津軽海峡を越えて(古い言い回しですが)、東京にいるというのも稀ではありません。自分の親の面倒を最期まで家族で看る、ということが少なくなって(出来なくなって)きております。市内の高齢者が急性期医療を終えて、すぐに自宅退院が出来ればいいのですが、そうでないことも多くなっております。地域の高齢者を急性期だけではなく、前記のように慢性期・介護も含めた医療で見ていく体制をつくり上げていく、「地域と共に生きる」という事になるかと思います。地域=小樽の実情に合わせた医療を実践していかなばなりません。当院もその体制を更に充実させて構築していく様に進めているところであります。当院は市内の公的病院としての役割をこれからも続けていく所存であり、コロナ禍がひと段落してのんびりしている時間はありません。

今年は当院玄関横の千島桜は例年より早く散った感がありますが、こんな言葉を聞いたことがあります。「桜は春になったから咲くのではない。寒い冬を乗り切ったから咲くのである」と。寒い冬を各人に合わせてみたら良いと思います。受験であったり、就職であったり、医療業界であれば、まさにコロナ禍が該当するかもしれません。これからも寒い冬は必ず来ますが、地域と共に生きて、それを乗り切る努力、耐える意思を必要としていると思います。

# 新入職医師紹介

済生会小樽病院に新たなメンバーが増えました。フレッシュな医師達を紹介します！

① 医師を目指したきっかけ ② 私の健康法 ③ 目標や意気込み

泌尿器科医長  
(2018年卒)

よしだ たかし  
吉田 敬 医師



① 子供の頃に診療してくれた医師の姿に憧れた②ランニング(過去フル1回、ハーフ3回)③先生に会えてよかったと思われる診療を心がけます

リハビリテーション科医長  
(2018年卒)

たなか ゆうき  
田中 雄輝 医師



① 病気や外傷による患者さんの苦しみを和らげ、取り除ける職業である事に魅力を感じた②通勤時できるだけ階段で移動して、歩数を稼ぐ③患者さんの日常生活動作の維持・改善に寄与できるよう、微力ながら努めて参ります

内科医長  
(2019年卒)

ささき こう  
佐々木 耕 医師



① 人の命を助ける仕事に就きたかった②十分な食事、睡眠をとること③4月から赴任しました。何卒よろしくお願い致します

脳神経内科医長  
(2019年卒)

たなか さとよし  
田中 聡泰 医師



① 世の中の役に立ちたい気持ちで目指しました②ストレスをためないようにしています③皆様のお役に立てますよう精進致します

内科副医長  
(2020年卒)

えいどう あきのり  
永洞 明典 医師



① 医学研究に興味を持ったこと②散歩しています③皆様が安らかに過ごせるように努めます

整形外科副医長  
(2021年卒)

いわた けんたろう  
岩田 健太郎 医師



① 中学生の時に診療してくれた医師に憧れた②おいしい物を食べる③信頼できる医師になれるよう頑張ります

整形外科副医長  
(2021年卒)

ふかい こうき  
深井 康貴 医師



①好きな女の子が医学部志望だったから②プロテインを飲む。おすすめはVALX③笑顔で皆勤賞

初期研修医  
(2024年卒)

ながの しおり  
長野 しおり 医師



①ブラックジャックに憧れて②朝のプロテインと週2暗闇バイクフィットネス③厳しめのご指導よろしくお願いします！

新しい医師達と共に、これからも当院は成長し続けます！

小樽っ子サトシ君が聞く！

## 変形性膝関節症<sup>！！</sup>って何だろう？



サトシくん

サトシ君は小樽市の手宮方面に住む野球少年です。  
「ソノバあちゃん」が変形性膝関節症で手術することになったよ！  
変形性膝関節症ってどんな病気だろう。  
今日は整形外科の高橋克典先生に質問に来たよ。

先生、変形性膝関節症について色々教えてください。

はい。なんでも聞いてください。



整形外科  
高橋 克典 医長

### Q1. 変形性膝関節症って何ですか？

膝の軟骨がすり減って、関節の炎症や変形、痛みを生じる病気です。



正常な人の  
軟骨と関節



軟骨がすり減ってきて関節が  
ぶつかり痛みが出る



重度になると関節の  
炎症や変形が生じる

### Q2. どうして変形性膝関節症になりますか？



人が歩く際には必ず膝に体重がかかり、軟骨に負荷がかかります。歩行運動を繰り返すことで、長い年月をかけて膝の軟骨が徐々にすり減っていくことで発症する場合があります。他には、骨折や靱帯損傷、半月板損傷などのケガを原因として発症する場合があります。



### Q3. 変形性膝関節症になるとどうなりますか？

立ち上がりや歩き始めの際の膝の痛みが出たり、膝に水がたまって腫れたりします。変形が進行してくると、膝の伸びや曲がりが悪くなったり、O脚になってきたりします。

### Q4. どんな検査法がありますか？

まずはレントゲンを撮ることが多く、関節のすきまの程度から残っている軟骨の厚みを推定したり、膝の変形の程度を判断するのに役立ちます。軟骨や半月板、靭帯の状態を確認するためにMRI検査を行う場合もあります。

### Q5. どうしたら治りますか？

痛みや水がたまるなどの症状は、痛み止めやヒアルロン酸の注射、筋トレなどでよくなる場合があります。しかし、一度すり減ってしまった軟骨を元通りにする方法は現在のところありません。変形が進行した場合、それを治すためには手術が必要になります。

### Q6. 僕もなりますか？

子どもがなることはほとんどありませんが、靭帯損傷や半月板損傷などのケガを放置すると若いうちに変形性膝関節症になってしまう場合があります。



### Q7. どれくらいの人になりますか？

痛みなどの症状がある人だけでも約1,000万人いると言われ、割合にすると12～13人に1人くらいが発症する、とてもありふれた病気です。症状のない、レントゲン写真での変形だけがある人を含めると約3,000万人に上ると言われています。

### Q8. 予防法はありますか？

膝にかかる負担は体重によって大きく変わるので、体重を減らすことが予防にとても有効です。膝がぐらぐらしないよう、膝周りの筋肉、特に太ももの前側にある大腿四頭筋を鍛えてあげることも大切です。



高橋先生、ありがとうございました。  
今日も、またひとつ賢くなりました。

また何か気になることがあったら、  
いつでも聞きに来て良いですよ。







# 患者さまの声



## 《ご意見・お叱りの声》

※患者さまからのご意見やご要望を、お寄せいただくために『ご意見箱』を設置しております。病院が少しでも利用しやすくなるように取り組んでおりますのでお気づきの点が御座いましたら何なりとお知らせください。

糖尿病でインスリンをしています。そのゴミすてに大変困ります。ペットボトルに入れてきていますが、すごく恥ずかしい思いです。ほかの病院では黄色のプラスチックの入れ物をくれています。(少なくとも2か所)どうでしょうか?済生会でも支給してくれることは出来ませんでしょうか?よろしくお願いします。

使用済み針の捨て方に関しまして、ご意見を頂き有難うございます。あいにく当院では専用容器の支給は今のところ考えておりませんので、中身が気になるようであれば紙袋等に入れ、見えないようにお持ちいただければと存じます。ご要望に沿えず申し訳ございませんがご理解いただけますと幸いです。この度は貴重なご意見ありがとうございました。(総務課)

事務職員〇〇さんが怒ったような強い口調でものをいいます。あれでは会話にならない。病院側も考えるべきではないのか?

この度は不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。今回ご指導頂きましたことを真摯に受け止め、患者さんの気持ちに寄り添った対応ができるよう接遇向上に努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。(医事課)

## 《お褒めの言葉》

こちらの辛いところを説明すると、筋力強化より筋肉に柔軟性をもたらすことの方が優先事項と、多くのストレッチメニューを指導していただきました。その際に私の運動機能が低下している箇所(身近なものを利用した)補助器具をいくつも教えてくれるなど、多くの知識を持たせてくれることに感嘆いたしました。また、退院後のストレッチや筋力トレーニングなどのメニューも細やかに提案いただき本当に感謝しております。筋トレや持久力アップばかりですと中々続けて取り組めない所でしたが、まだお若いのに年寄の話し相手も勤めていただけて辛いことなくやり通せました。ありがとうございました。

この度はお褒めのお言葉を頂き、スタッフ一同より感謝申し上げます。リハビリテーションは時には辛い場面もあるかと思いますが、スタッフの励まし、温かい雰囲気を提供して、出来る限り辛い思いを与えず、日々自身の回復を感じて頂けるよう、今後もリハビリテーション室スタッフ一同励んでいきたいと思っております。(リハ室)

こちらの問いかけをしっかりと聞いてくれ、分からないことは曖昧にせず、調べてお答えしますと言ってくれる。答え方もゆっくり丁寧で聞き取りやすい口調で話してくれてありがたかった。勤務してそう長くないとのことでしたが、対応が親切で安心感がありました。一方で質問に対する答えが「そう思います」、「それで良いと思います」と答える方もいらっしゃいました。「思います」はこちらの不安感が増すばかりです。リハビリをするようにしていただいた整形の〇〇先生ありがとうございました。済生会小樽病院ありがとうございました。良い病院です。

この度は、当病棟のスタッフにお褒めの言葉・貴重なご意見を頂きありがとうございました。患者様が安心して療養生活が行えるように、看護師は安心した言葉がけを常日頃心がけていかなければいけません。今回は、不安につながる言葉がけも一部スタッフであったとのことで、患者様にはご不安をおかけしたことをお詫び申し上げます。看護師の言葉がけが、患者様の療養生活に対する不安や緊張の解消を促し、信頼関係の構築に結びつく手段となるため、今後も「安心した声掛け」が徹底して行えるよう、スタッフ一同取り組んでいきます。(看護部)



たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました!!  
今後とも、当院をよろしくお願いいたします。

きずな

# 地域連携病院の絆

～安心の地域医療サービスをめざして～

緑

[内科・神経内科・整形外科・リハビリテーション科]



## 医療法人社団 一視同仁会 札幌・すがた医院

院長 菅田 忠夫（すがた ただお）先生

### 地域で暮らす患者さん・利用者さんの日常生活を多方面から支援

当院は1998年8月に市内緑町に開院しました。名称は「一視同仁会 札幌・すがた医院」です。『一視同仁』とは、すべての人を平等に見て、愛し慈しむという意味で、この言葉を法人の理念とし、それに基づき「患者さん・利用者さんが困っていることをみんなで何とかしよう」をかけ声にして、職員共々診療を行っています。

内科、脳神経内科、整形外科、リハビリテーション科の常勤医師計4名、リハビリテーション部門職員42名で、発達障害や各種疾患による、生活能力の低下、運動機能低下、認知機能の低下や、加齢による機能の問題など、地域で暮らす全ての世代が抱えている日常生活における困難の原因を探り、治療やリハビリテーション、環境の整備、介護サービス、福祉（発達障害）サービス等の導入にて、生活全般における能力の回復や維持を目指しています。

そのため、外来診療に加え、在宅支援診療所として積極的に訪問診療や訪問リハビリテーションを行い、関連施設のケアプランセンターや通所系・在宅系の介護・福祉サービスの提供で、住み慣れたこの町で最期まで自分らしく暮らし続けることが出来るよう、多方面から皆さまのご自宅での生活を支援しています。

小樽市緑2丁目29番3号  
TEL 0134-23-8266

#### 【診療時間】

■月～金曜日

午前診 9:00～12:00

午後診

【内 科】15:00～17:00

※第2・第4火曜 午後休診

【整形外科】14:00～17:00

■土曜日

午前診 9:00～12:00

■訪問診療

月～金 13:00～15:00

#### 【休診日】

日曜日・祝祭日

#### 【北海道中央バス】

「緑2丁目」バス停よりすぐ

#### 【駐車場】

医院玄関横5台、医院向かい側約20台



## 「かかりつけ医」を持ちましょう

### 「かかりつけ医」とは？

病気やけがなどの通院治療はもちろん、日頃の健康管理を行っていただく、地域の身近なお医者さんのことです。気になることがあったら、まず「かかりつけ医」に相談しましょう。専門的な治療や検査、入院などが必要となった場合は適切な医療機関を紹介し、病院の架け橋となってくれます。



かかりつけ医をお持ちでない患者さんには、病気やお住まいの地域に合わせてご紹介いたします。お気軽にご相談ください。

## 連帯保証人代行制度を 導入しました。

令和6年5月1日から連帯保証人代行制度「スマホス」を導入しました。

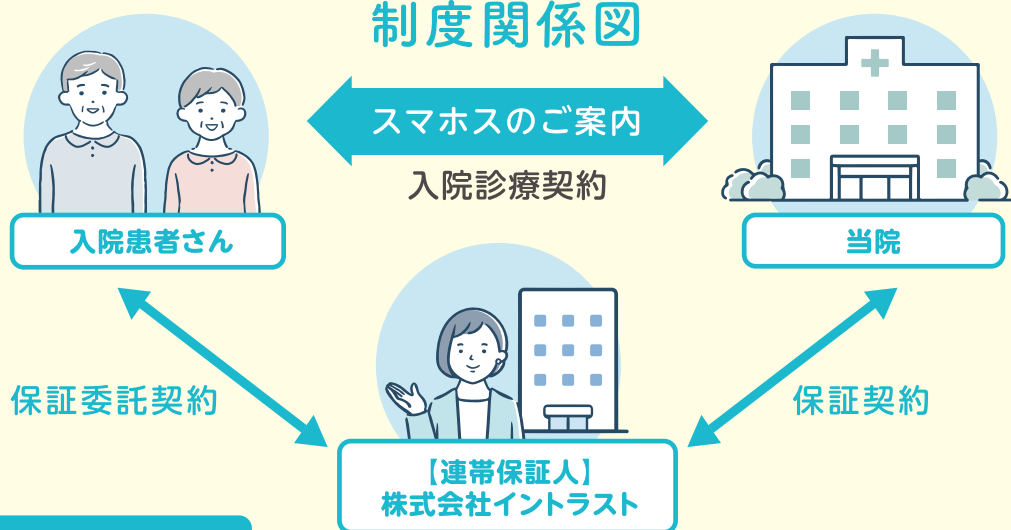
当院に入院される患者さんが入院申込書（誓約書）に記入する連帯保証人は、当院が契約している代行会社（株式会社イントラスト）になります。これまではご親族等の連帯保証人をご用意いただいておりましたが、今後は連帯保証人が不要になります（身元保証人は必要です）。連帯保証人のご準備が難しい場合も安心してご入院いただくことが可能になり、保証料をご負担いただくこともありません。

患者さんが万一、入院費その他諸費用を期日までにお支払いいただけない場合、同社が保証限度額を上限に立て替え払います。その場合は同社から患者さんに請求がありますが、支払方法やスケジュール等の相談についても個別に対応してくれるそうですので、ご安心ください。なお、患者さんから同社へのお支払いの際は、代位弁済手数料がそのつどかかります。詳細はご入院時に説明します。



連帯保証人を  
わざわざ頼まなくて  
よかったのね！

### 制度関係図



### 保証内容について

#### 保証期間

入院日（保証開始日）より  
退院日（保証終了日）まで

〈保証対象外〉 右記に掲げる保証範囲以外に  
入院中に生じた費用

#### 保証範囲

- ①入院費用自己負担分
- ②入院費用実費負担分（個室料、食費など）
- ③レンタル費用（病衣など）

※ただし、病院がレンタルしている場合に限り  
※保険証をお持ちでない方もご利用いただけます





## 済生会の歴史

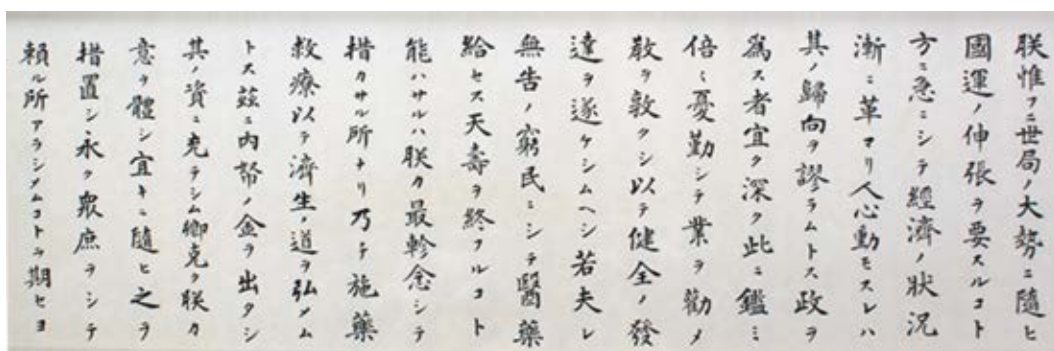
「済生会」は、済生会小樽病院をはじめ全国103の病院・診療所と、300以上の福祉施設などを運営し、総計約64,000人が働いている日本最大の社会福祉法人です。このコーナーは、「済生会」をみなさんにもっと知ってもらいたい！そんな思いから誕生しました。

### はじめは、 明治天皇の「済生勅語」

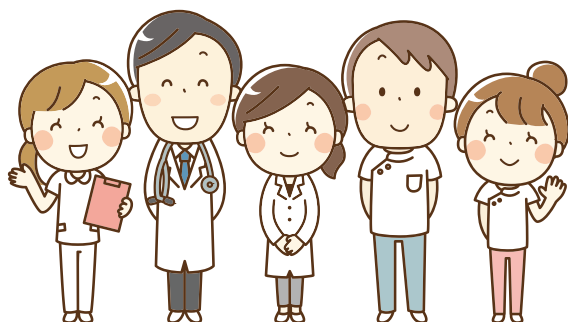
明治44年2月11日、明治天皇は、時の内閣総理大臣 桂太郎を御前に召され、「生活苦で医療を受けることが出来ずに困っている人たちを施薬救療（せやくきゅうりょう：無料で治療すること）によって救おう」と「済生勅語」を発し、お手元金150万円を下賜されました。桂総理は早速、準備に取り掛かり、同年5月30日、天皇陛下からいただいたという意味の「恩賜財団済生会」の創立となりました。



明治天皇



済生勅語



済生勅語の理念を元に  
これからも済生会小樽病院は  
患者さまと地域に寄り添った医療を  
提供していきます

# 外来担当医師一覧表(2024年6月)

●受付時間/午前8:50～11:30 午後12:40～16:00

| 診療科              |                    | 月                            | 火                     | 水                                                           | 木                            | 金                               |
|------------------|--------------------|------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 内科・<br>消化器内科     | 午前                 | 明石浩史<br>舩谷治郎                 | 水越常德<br>佐々木 耕<br>池田 博 | 宮地敏樹<br>水越常德                                                | 宮地敏樹<br>明石浩史                 | 永洞明典<br>舩谷治郎<br>石上啓介            |
|                  | 午後                 | 志谷真啓<br>水越常德                 | 宮地敏樹<br>永洞明典          | 本谷雅代<br>佐々木 耕                                               | 舩谷治郎<br>内科医師                 | 水越常德<br>明石浩史                    |
| 循環器内科            | 午前                 |                              | 高田美喜生<br>村上 直人        | 國分宣明                                                        | 高田美喜生                        | 中田 圭                            |
|                  | 午後                 |                              |                       |                                                             |                              | 高田美喜生                           |
| 脳神経内科            | 午前                 | 林 貴士                         | 松谷 学                  | 藤倉 舞                                                        | 脳神経内科<br>医師                  | 松谷 学<br>田中聡泰                    |
|                  | 午後                 | 藤倉 舞                         |                       | 田中聡泰                                                        |                              |                                 |
| 緩和ケア内科<br>※完全予約制 | 午前                 | 菊地未紗子                        | 菊地未紗子                 | 菊地未紗子                                                       | 菊地未紗子                        | 菊地未紗子                           |
|                  | 午後                 | 菊地未紗子<br>(第1・3・5)            |                       | 菊地未紗子                                                       |                              | 菊地未紗子                           |
| 外科・消化器外科         | 午前                 | 木村雅美                         |                       | 木村雅美                                                        | 田山 誠                         |                                 |
| 乳腺外科<br>※完全予約制   | 午後                 |                              |                       |                                                             | 島 宏彰<br>(第3)                 |                                 |
| 整形外科             | 午前                 | 和田卓郎<br>濱田修人<br>高橋克典<br>深井康貴 | 織田 崇<br>高橋克典<br>岩田健太郎 | 織田 崇<br>濱田修人<br>深井康貴<br>(第1・3・5)<br>岩田健太郎<br>(第2・4)<br>清水淳也 | 近藤真章<br>和田卓郎<br>高橋克典<br>深井康貴 | 織田 崇<br>濱田修人<br>岩田健太郎           |
|                  | 午後<br>※予約・<br>紹介患者 | 近藤真章                         |                       | 濱田修人<br>(第2・4)                                              |                              | 杉 憲<br>(第2・4)<br>札幌医大医師<br>(第3) |
|                  | 15:00～<br>17:00    |                              |                       | 織田 崇<br>(第1・3・5)                                            | 高橋克典                         |                                 |
| リハビリ<br>テーション科   | 午前                 |                              |                       |                                                             |                              |                                 |
|                  | 午後                 |                              |                       |                                                             | 田中雄輝<br>(第1)                 |                                 |
| 泌尿器科             | 午前                 | 堀田浩貴                         | 安達秀樹<br>吉田 敬          | 堀田浩貴                                                        | 堀田浩貴                         | 安達秀樹<br>吉田 敬                    |
|                  | 午後                 |                              |                       |                                                             |                              |                                 |

